

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分区

帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016 年度
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎
幹 事 加藤 昭治
メディア委員長 西田 重人

「連：つらなる」

第1511回例会

平成28年3月11日(金) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認証：1984年6月18日 ■例会：毎週火曜日 12:30～13:30

■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016 年度
国際ロータリーテーマ

【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016 年度国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラ

ガバナーテーマ

【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー
東 堂 明

第15回帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同例会

◎点 鐘 帯広北RC 会 長

◎開会宣言 帯広北RC S A A

ロータリーソング

「奉仕の理想」

◎ゲスト紹介 帯広北RC 会長
北海道帯広柏葉高等学校 教頭 青木 保繁 様

会長挨拶

帯広北RC 来海会長



皆さんこんばんは。本年度第1回目の3クラブ合同夜間例会ということで沢山の方々のご出席を頂きましてありがとうございます。

うちの帯広北RCは1959年の2月23日に設立致しまして、今年57年目、私も今年57歳でございます。帯広東RCさんは昭和59年6月16日設立の31年と聞いております。

音更RCさんは平成5年10月19日設立の今年22歳ということで、それぞれがクラブの伝統を引き継ぎながら、時代に即応した形でクラブの運営をして、より良き組織を作ってきたことと思います。

今日は、本来であればロータリー奨学会の支給式ということですが、今年は支給年に当たらないものですから、学生さんの贈呈することがないということですので、ゆっくりお酒を飲みながらロータリーの友情を深めて頂ければ幸いです。

今年度も後3ヵ月余りということで、もう少しで年度も変わるかなと思っております。皆様もご存じの通り、当クラブの細川会員が現在、ガバナーノミニー・デジグネートということで、7月からはガバナーノミニーとして出発

致します。本日お集まりの方々のみならず、第6分区、そしてオール十勝で協力をしていくことをお願いしたいと思えます。

最後になりますけども、本日は3月11日ですから黙祷をさせて頂きましたけども、後でほろ酔いになって気持ちが大きくなってきた頃に募金を集めに伺いますので宜しくお願いしたいと思います。まだインフルエンザ等も流行っておりますので、お体には気をつけながらロータリー活動をしっかり行うことを祈念しまして冒頭の挨拶とさせていただきます。

会務報告

帯広北RC 矢戸幹事

◎第6分区IM開催のご案内

日 時 3月25日(金)

受付登録 14時30分～

開 会 式 15時00分～

フォーラム 15時40分～

閉 会 式 17時00分～

懇 親 会 17時45分～

場 所 北海道ホテル



※尚、帯広東RCは3月22日(火)の繰下げ例会
音更RCは3月30日(水)の繰上げ例会

プログラム

十勝ロータリー奨学会 前田理事長

一言ご挨拶申し上げます。本日はロータリー奨学会の担当ということで、柏葉高校の青木先生にご無理を言いまして、今日、卓話をして頂くことになりました。

何回も皆様方の前で、奨学金については如何に大切か、でもスチューデントローンということで、

英語に直すと返さなくてはいけないお金が圧倒的に多くて大変ですよという話も何回もさせて頂きました。そうこう思っていましたら、アメリカの奨学生がお金を返すのが大変だというニュースが話題となっております、これはどこの国でも同じなんだなぁと改めて感じたところです。

ただ、やはり奨学会というのは我々の先輩も苦労してお金を集めて作ったものでありますし、如何に勉強というものが大事か、知識というもの・知恵と人材というものが世界にとっても国にとっても非常に大事なことだと思います。これについては、学習権という非常に大事な権利という考え方もありまして、それを何とか助けるのが我々の活動の一部だろうと考えております。



ちなみに、アメリカでは沢山の学生のローンがあるというのですが、日本も10倍程度の予算で奨学金があるそうです。アメリカのスチューデントローンが如何に返すのが大変かという中で、我々の無償の奨学金というのはわずかな額ですけども返さなくて良いものですので意義があるものと考えました。

いつもの我々の話では、あげる方の立場ということで、独りよがりになりがちですので、今回はもらう方の立場の学生を指導している柏葉高校の教頭先生にお話をさせて頂くという、今までとは逆の発想を企画致しましたのでご清聴の程よろしくお願い致します。

ゲスト卓話

帯広柏葉高等学校 青木 保繁 教頭



今日は、奨学金を受ける側の立場での話ということと、それに対して現場で指導する側の立場ということのご依頼を頂きました。高校生および高校から大学に進学した後の奨学金の受給につきましてお話をさせていただきます。

今日のお話の全体的な流れは、大きく4つのお話をさせて頂きたいと思います。まず、高校でどれだけのお金がかかるのかということと、保護者の経済状況についてお話をさせていただきます。

本校のそれぞれの学年でかかるお金を表にしたものです。例えば1年生の場合、PTA会費や教材費、その他で77,400円、これに授業料が118,800円ということになりますので、両方含めると20万円程になります。更に、1年生の場合は宿泊研修、2年生だと見学旅行がありますので、宿泊研修で2万円程、見学旅行で12万円程、それから部活動に入れば部活動の費用、大会の遠征費用などがこれ以外にもかかってきます。又、大学進学を考える場合、模擬試験を受けていきますが、1回につき3,500円程度なので、1・2年生の場合は3回程度、3年生になると年間で12~13回ということで非常に大きな出費になります。

こちら本校の出身地域になります。帯広市内からの進学者が全体の半分以上です。残りの半分が帯広市外からの子供たちなのですが、中には遠方から進学してくる生徒たちも居ります。その中には1年間を通してバスやJRを乗り継いで来ている子たちも一定数います。非常に高額な交通費がかかっております。更にその中で通えない所から来ている子たちについて、下宿ということで、数は多い学年では25名程度ということになります。

こちらは就学支援金についてのグラフになります。就学支援金というのは、公立高校の授業料相当額を国から支援される制度ですが、今の2年生からスタートしております。卒業した3年生は授業料免除という制度でしたが、就学支援金という制度に変わっています。保護者の収入によって就学支援金が利用できるかが決まりまして、全国平均では15%程度が対象外、本校の場合は収入の高い保護者が多いようで31.5%が対象外です。とは言うてもかなりの格差があるのが現実です。一般的な厚生労働省の資料から使っているものですが、平均年収は北海道の場合はかなり低くなっているということと、丁度、高校生・大学生を持つ子育て世代(40歳代・50歳代)で400万円~450万円程と見て取れます。

先日の新聞で、子供の貧困についてという記事がありましたが、18未満の子供がいる世帯の内の生活保護以下の収入で暮らしている世帯の割合のことを子供の貧困率という定義にしているようですが、年々貧困率が増えている状況にあるという内容でした。



奨学金の受給指導についてのお話をしたいと思います。高校生に奨学金の説明をする場合、その奨学金のタイプをいくつかに分類して説明しますが、まずは高校在学中の奨学金と大学進学した後の奨学金があること、そして公的な奨学金と民間の奨学金があること、更には、貸与型・給付型・減免型というものがあること、貸与型につきましては、有利子又は無利子でお金を貸してくれるというもので、これは返す必要がある訳です。給付型はお金が頂けて返さなくてもいい、ただ、給付型の場合は民間企業が行う全国タイプと地方自治体が行う地域タイプで給付の対象・目的が異なるようです。減免型は大学などが行うタイプで入学金や授業料を全額免除したり、半額免除するというようなタイプのものです。

項目	金額	項目	金額
授業料	118,800	授業料免除	118,800
教材費	77,400	教材費免除	77,400
PTA会費	10,000	PTA会費免除	10,000
その他	10,000	その他免除	10,000
合計	206,200	合計免除	206,200

具体的に、高校生の奨学金について見ていきたいと思いますが、こちら本校の在学を対象にしている帯広柏葉会の奨学金です。同窓会が行っております。財源は同窓会が管理する山林から森林を切り

出したものが財源となっておりまして、年額で12万円を6名に支給します。こちらは毎年、選考を行うのですが、年収が100万円台から決まってくるといった状況です。こちらは北海道の高校生を対象にした奨学金になります。無利子貸与タイプで、本校でも平成27年度は8名が採用となっております。その他、数は少ないのですが民間が行う様々な奨学金があり、特に本校がお世話になっているのが、人志奨学金で月額2万円というものです。毎年1名程度お世話になっております。ただ非常に学業のハードルが高いので中々、帯広市内でも本校の生徒ぐらいのレベルではないと手が届かないと思われる奨学金です。

本校の奨学金の指導体制についてですが、4月から6月くらいにかけて、放課後に希望する生徒を集めて、数回に分けて、それぞれのタイプによって説明を行っております。学校推薦が必要なものについては、推薦委員会の方に生徒を推薦していただく形をとっております。



◎閉会宣言
◎点 鐘

帯広北RC SAA
帯広北RC 会長